

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認のうえ、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておく、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

お客様相談センター【ご利用時間 9:00～18:00】※全日対応(土・日・祝日対応)

●フリーダイヤル

☎ 0120-20-8822 ※携帯電話、IP 電話からもご利用いただけます。

全国営業拠点

■支店の移転等により連絡がとれない場合は、下記のアドレスから最新の電話番号をご確認いただけます。

<https://www.hikoki-powertools.jp/relation/sales.html>



●北海道支店	TEL (011) 786 - 5122	●北陸支店	TEL (076) 263 - 4311
●東北支店	TEL (022) 288 - 8676	●関西支店	TEL (06) 7167 - 3644
●東京支店	TEL (03) 5753 - 7703	●中国支店	TEL (082) 504 - 8282
●関東支店	TEL (03) 6374 - 5687	●四国支店	TEL (087) 863 - 6761
●中部支店	TEL (052) 533 - 0231	●九州支店	TEL (092) 621 - 5772

工機ホールディングス株式会社

〒108-6018 東京都港区港南 2 丁目 15 番 1 号 (品川インターシティ A 棟)
営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>

部品コード C99255402 309 G

HIKOKI

取扱説明書

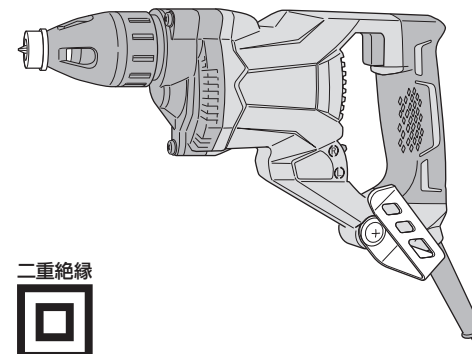
用途

●ドライウォールねじの締付け・取りはずし

ボード用ドライバ

4 mm W 4SE2

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、
ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、
正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に
大切に保管してご利用ください。



二重絶縁



はじめに

電動工具の安全上のご注意	1
二重絶縁について	5
本製品の使用上のご注意	6
各部の名称	7
仕様	8

使い方

ご使用前の準備	9
ご使用前の確認	10
フックの使い方	11
ビットの取りはずし・取付け	12
スイッチについて	13
正逆転切り替えについて	13
締付け深さの調整	14
保護機能について	14
ねじを締める / ゆるめる	15

その他

保守・点検	16
ご修理のときは	裏表紙

本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

⚠警告、⚠注意、注 の意味について

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、**⚠注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な事故に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

電動工具の安全上のご注意

⚠警告

感電、火災、重傷を招く事故を未然に防ぐため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

なお、文中の「電動工具」とは、電源式（コード付き）電動工具を示します。

作業場の安全性

- ① 作業場は整理整頓して、十分な照明を確保してください。
散らかった暗い場所や作業台は、事故を招く恐れがあります。
- ② 爆発を誘引することがある可燃性の液体やガス、または粉じんがある所で電動工具を使用しないでください。
電動工具から発生する火花が発火の原因になります。
- ③ 電動工具の使用中は、子供や第三者を近づけないでください。
注意が散漫になり、操作に集中できなくなる場合があります。

電気に関わる安全性

- ① 電動工具の電源プラグに合ったコンセントを使用してください。電源プラグを改造しないでください。また、アダプタプラグをアース（接地）された電動工具と一緒に使用しないでください。
改造していない電源プラグおよび、それに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクは軽減されます。
- ② 電動工具の使用中は、金属製のパイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などアース（接地）されている物に体を接触させないようにしてください。
体が触れた場合、感電のリスクを増大させます。

⚠警告

屋外で使用する際には、③～⑤の注意が必要です。

- ③ 電動工具は、雨または湿気がある状態にさらさないでください。
電動工具に水が入ると、感電のリスクが増大します。
- ④ コードを乱暴に扱わないでください。
 - 電動工具を移動させたり、引いたり、または電源プラグを抜くためにコードを利用しないでください。
 - コードは、熱、油、角のつがった所、または動く物からはなしておいてください。コードが損傷したり、絡まったりすると、感電のリスクが増大します。
- ⑤ 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
屋外使用に適したコードを使用すれば、感電のリスクは軽減されます。

人への安全性

- ① 電動工具の使用中は、油断をせず、常識を働かせ、いま自分が何をしているかに注意して作業してください。
疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいるときは使用しないでください。一瞬の不注意で、深刻な傷害を招く場合があります。
- ② 安全保護具を使用してください。
 - 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
 - 滑り防止安全靴やヘルメット、耳栓やイヤマフなどの安全保護具を使用することで、傷害のリスクが軽減されます。
- ③ 不意な始動を避けるため、電源プラグをコンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
スイッチに指を掛けて運んだり、スイッチが入っている電動工具の電源プラグをさし込むと、不意に始動し事故を招く恐れがあります。
- ④ 電動工具の電源を入れる前に、レンチや調整キーをはずしてください。
工具の回転部分にレンチやキーなどを付けたままにしておくと、傷害を招く恐れがあります。
- ⑤ 無理な姿勢で作業をしないでください。
常に適切な足場とバランスを維持することで、予期しない状況でも電動工具をより適切に操作することができます。
- ⑥ きちんとした服装で作業してください。
 - だぶだぶの衣服や装飾品は着用しないでください。
 - 髪や衣服、および手袋を回転部に近づけないでください。
回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ⑦ 集じん装置が接続できる物は、適切に使用してください。
粉じんによる人体への悪影響を軽減することができます。

⚠ 警告

電動工具の使用および手入れ

- ① 無理に使用せず、用途に合った電動工具を使用してください。
用途に合った電動工具を使うことでより良く、安全な作業が行えます。
- ② スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は事故を招く恐れがあるので、使用せず修理を依頼してください。
- ③ 誤作動防止のため、次の作業前は電動工具のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - 準備や調整。
 - 付属品や別売部品の交換。
 - 保守・点検や保管。
 - その他、危険が予想される場合。このような安全対策によって電動工具を誤って始動させるリスクが軽減されます。
- ④ 使用しない電動工具は、子供の手の届かない所に保管し、電動工具に不慣れな者や取扱説明書を読んでいない者には電動工具を使用させないでください。
電動工具を扱い慣れていない者に渡すと事故の原因になります。
- ⑤ 電動工具の保守・点検を適切に行ってください。
 - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - 異常がある場合は、使用する前に電動工具の修理を行ってください。電動工具の保守が不十分であることが、事故の原因となります。
- ⑥ 先端工具は、鋭利かつ清潔に保ってください。
先端工具を適切に手入れし、先端を鋭利に整えておくことで、作業を円滑にし操作が容易になります。
- ⑦ 電動工具、付属品、別売部品、先端工具などは、作業条件や、実際の作業を考慮し、取扱説明書に従って適切に使用してください。
取扱説明書に書かれていない使用方法で作業すると、傷害を招く恐れがあります。
- ⑧ 電動工具は異常な高温、または低温の場所で使用すると能力を十分発揮できません。

整備

- ① 電動工具の修理は、修理専門要員が純正交換部品だけを用いて行ってください。
これにより電動工具の安全性を維持することができます。

その他の項目

- ① 取扱説明書はお読みになった後も、使用する方がいつでも見られる所に大切に保管し、利用してください。
他の人に電動工具を貸し出す際は、取扱説明書も一緒にお渡しください。

⚠ 警告

- ② 十分な防じん対策や飛散防止対策をしてください。
特に、人体に有害な成分を加工するときは注意してください。
- ③ アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業を含む)で使用しないでください。
アスベストは、人体に肺がん等の重大な健康被害を発症させる物質です。
- ④ 加工する物をしっかりと固定してください。
加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
- ⑤ 作業前に確認してください。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。
 - 巻き込まれる恐れのある手袋はしないでください。
 - 安全の責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で使用しないでください。
 - 保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定の機能を発揮するか確認してください。
 - コードや延長コードは事前に点検し、損傷している場合には修理・交換してください。
 - 屋外で延長コードを使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルを使用してください。
- ⑥ 電動工具は取扱説明書に従い、正しく使用してください。
 - 大形の電動工具で行う作業には、小形の電動工具・別売部品を使用しないでください。
 - 安全に能率良く作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。
 - 電動工具は指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑦ 指定の付属品や別売部品を使用してください。
この取扱説明書、および弊社カタログに記載されている指定の付属品や別売部品以外の物を使用しないでください。
- ⑧ メンテナンスをきちんと行ってください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
 - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - 損傷した保護カバー、その他の部品交換は、取扱説明書の指示に従ってください。
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
 - この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
 - アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業を含む)で使用了電動工具の保守・点検・修理は受付けできません。

二重絶縁について

二重絶縁とは、電気が流れる部分と手に触れる外枠部品との間が、異なる二つの絶縁物で絶縁されている構造のことです。たとえ一つの絶縁物がこわれても、もう一つの絶縁物で保護されるため感電しにくい構造です。

お求めの製品は二重絶縁構造であり、銘板に  マークで表示してあります。
純正品以外の部品と交換したり、間違って組み立てたりすると二重絶縁構造でなくなります。電気系統の修理や部品の交換はお買い求めの販売店に依頼してください。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

本製品の使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、ボード用ドライバについて、次に述べる注意事項を守ってください。

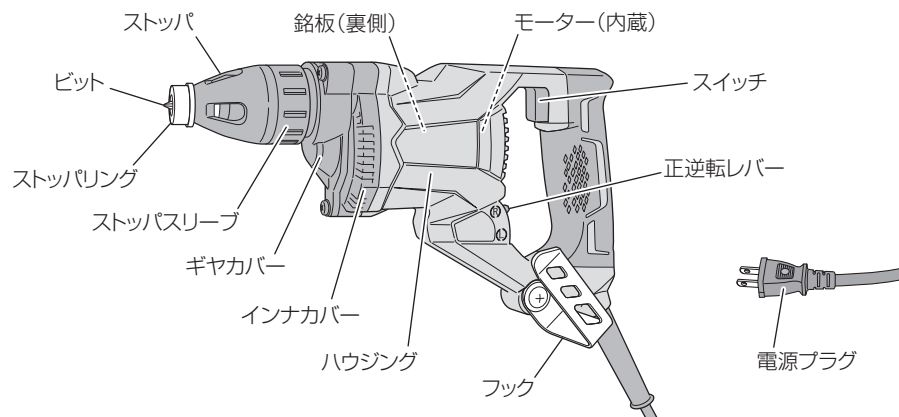
⚠警告

- ① 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
表示を超える電圧で使用すると、速度が異常に速くなり、けがの原因になります。
- ② 直流電源や変圧器などの電源で使用しないでください。
製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。
- ③ 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に確かめてください。
埋設物に締め込まれたねじが触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあります。
- ④ 使用中は、振り回されないよう機体をしっかりと保持してください。
- ⑤ 使用中は、ビットなどの回転部に手や顔などを近づけないでください。
- ⑥ 使用中、機体が高温になったり、異常音、異常振動がしたりするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
- ⑦ 誤って落としたり、衝撃が加わったりしたときは、機体やビットなどに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。

⚠注意

- ① 付属品や別売部品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください
- ② ねじ締め・ゆるめ直後のねじやビットは、高温になっているので触れないでください。
- ③ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。
材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ④ 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
- ⑤ 精密部品を内蔵していますので、落下等の強い衝撃を加えたり、水にぬらしたりしないでください。
誤作動等をおこす原因になります。

各部の名称



標準付属品

No. 2 プラスビット (ハードタイプ) 	1 本 (本体装着)	フック 	1 個
------------------------------	---------------	---------	-----

仕 様

形 名	W 4SE2
能力 (ドライウォールねじ)	4 mm
無 負 荷 回 転 数	6,500 min ⁻¹ {回/分}
使 用 電 源	単相交流 50/60 Hz 共用 電圧 100 V
モ ー タ ー	ブラシレスモーター
全 負 荷 電 流	4.7 A
消 費 電 力	400 W
質 量	0.9 kg (コードを除く)
プ ラ ス ビ ッ ト 長 さ	45 mm
コ ー ド	2 心キャブタイヤケーブル 20 m

ご使用前の準備

●作業場は整頓をし、明るくしてお使いください

●漏電しゃ断器の設置

本製品は二重絶縁構造のため、法令により漏電しゃ断器の設置は免除されています。しかし、万一の感電を防止するためにも漏電しゃ断器が設置されている電源に接続することをお勧めします。

●延長コードを使う場合

電気が流れるのに十分な太さの、できるだけ短いコードを使用してください。

右表は使用できるコードの太さと、最大長さの目安です。

これ以上長いコードを使用すると、電流が十分流れず製品の能率が落ち、故障の原因になります。

コードの太さ (mm ²) (導体公称断面積)	最大長さの目安 (m)
0.75	15
1.25	25
2	40

※ 導体公称断面積は、コードに表示されています。

ご使用前の確認

⚠警告

使用前に次のことを確認してください。「コンセントの確認」以外は電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

●締付けねじの確認

締付けねじがドライウォールねじであることを確認してください。

●ビットの確認

この機体には標準付属品として、No.2 プラスビット (ハードタイプ) が組み込まれております。

ビットの損傷により交換する場合は、P.12 の「ビットの取りはずし・取付け」を参照し、ビットを交換してください。

注 ねじに合ったビットを使用してください。

ねじに合ったビットを使用しないと、ねじ頭部の十字溝とビットを傷める原因になります。

●コンセントの確認

コンセントがガタつく、または抜けやすいコンセントは修理が必要です。

修理には電気工事士の資格が必要ですので、お近くの電気工事店などに相談してください。そのままお使いになりますと、過熱して事故の原因になります。

●スイッチの確認

本製品は、スイッチが入っている状態で電源プラグをコンセントにさし込んでも起動しない構造となっていますが、事故防止のためスイッチが切れていることを確認してください。(P.14「保護機能について」の「OVリリース」参照)

フックの使い方

フックは、作業の合間に腰ベルトなどにつり下げることができます。
また、左右に付け替えて使用することができます。

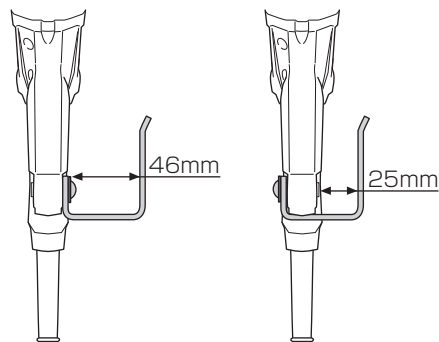
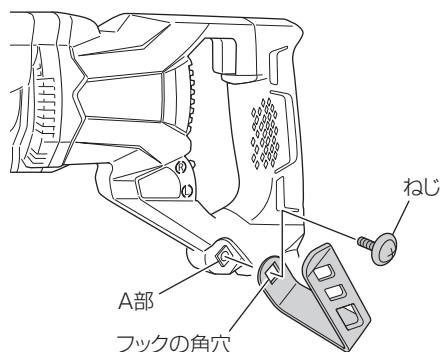
⚠注意

- フックを使用するときは、機体が落下しないように、しっかりと掛けてください。
- フックはしっかりと取付けてください。

フックの角穴を A 部にはめ込み、プラスドライバーを使用してねじをしっかりと締付けてください。

フックの取付位置を変えることにより、機体からの寸法を 46 mm と 25 mm に設定することができます。

フックは腰ベルト、または最大径 46 mm までのパイプなどに掛けることができます。



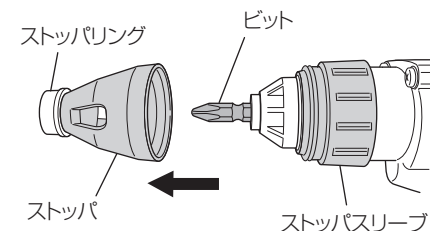
ビットの取りはずし・取付け

注 新品と交換の際は、弊社純正プラスビットを使用してください。
弊社純正プラスビットを使用しないとビットの先端が振れやすくなり、ドライウォールねじがビットからはずれやすくなります。

ビットの取りはずし

ストップスリーブを手でしっかりと押さえ、ストップを矢印方向に引き、ストップスリーブから取りはずします。

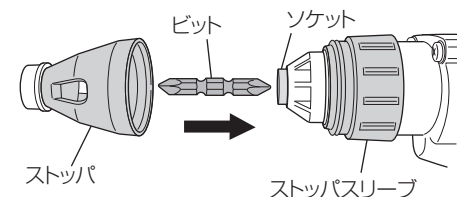
ビットの先をペンチなどで引き抜いてください。



ビットの取付け

ビットをソケットの穴に合わせてしっかりと押し込みます。

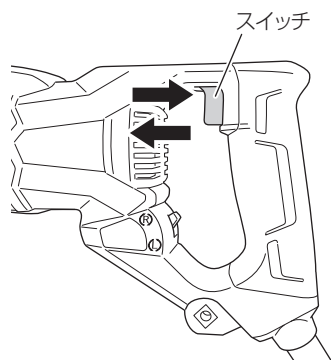
ビットを取付けましたら、ストップスリーブを手でしっかりと押さえ、ストップパをストップスリーブに取付けます。



スイッチについて

スイッチは引くと入り、はなすと切れます。スイッチを引き、指をはなしたときスイッチが戻ることを確認してください。

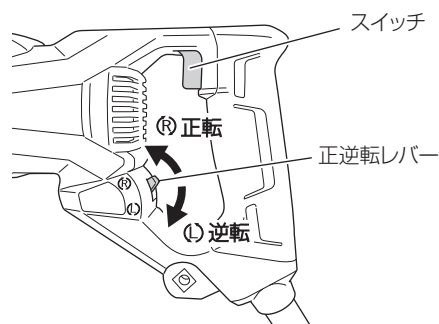
注 磁石をスイッチに近づけないでください。
スイッチ内部の磁気センサーが反応して、モーターが回転する恐れがあります。



正逆転切り替えについて

正逆転レバーを⑧側に倒すとビットはハンドル側から見て右に回り（正転）、⑨側に倒すと左に回ります（逆転）。

注 回転方向を変えるときは、スイッチを切ってモーターの回転が止まってから、正逆転レバーを操作してください。
スイッチを切らずに正逆転レバーを切り替えると、停止します。一度スイッチを切り、再び入れると起動します。



正逆転レバーが正転⑧の場合

スイッチを引くとモーターが回りますが、ビットは回転しません。

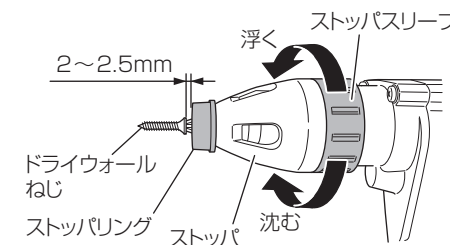
ビットの先端をねじ頭部の溝に当て、押し付けると、ビットが回転してねじを締めます。

正逆転レバーが逆転⑨の場合

スイッチを引くだけで、ビットの先端をねじ頭部の溝に当て押し付けなくても、ビットが回転します。

締付け深さの調整

- (1) ビットにドライウォールねじの十字穴を正しく入れ、ストップスリーブを回して、ストップリングとねじ頭との距離が2～2.5 mmになるように、調整します。
- (2) 数本試し締めし、ちょうど良い距離に微調整してください。



注 ストップの先端に装着してあるストップリングは、石こうボードにドライウォールねじを締付けする際に使用してください。石こうボード表面の損傷防止に効果があります。

保護機能について

⚠ 警告

原因がはっきりせず、たびたび保護機能が作動するときは、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

注 保護機能の作動を繰り返すと、機体が故障する原因になります。

機体を保護するため、問題が発生したときは、保護機能が働いて自動停止します。各状態は以下のようになっています。

保護機能	内容と対応
逆転連続防止	逆転で20秒以上連続して運転したとき、機体の故障を防ぐため停止します。 一度スイッチを切ると復帰します。
過負荷	大きな負荷がかかったとき、機体の故障を防ぐため停止します。 過負荷となる作業を止めて、一度スイッチを切ると復帰します。
温度上昇	内部の温度が規定温度を超えたとき、高温による故障を防ぐため停止します。 大電流が連続で流れる作業や、高温環境で急激な連続作業をすると、内部の温度が高くなります。 10～15分ほど機体を休めてから使用してください。
OVリリース	スイッチを入れた状態で、電源プラグをコンセントにさし込んでも起動しません。 一度スイッチを切ることで、解除できます。

ねじを締める / ゆるめる

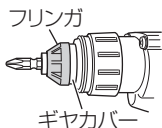
ドライウォールねじの
締め付け、ゆるめ

⚠警告

- 使用中は軍手など巻き込まれる恐れのある手袋を使用しないでください。ねじやビットなどに巻き込まれ、けがの原因になります。
- スイッチが入っている状態で、ねじをビットに合わせるとき、ビットを機体方向に押し込まないでください。ビットが回転し、けがの原因になります。

⚠注意

- ドライウォールねじ以外のテクスねじ・木ねじは使用しないでください。ねじやビットが高温になり、やけどや機体故障の原因になります。
- フリンガをはずして使用しないでください。
ギヤカバー内に粉じんが入り込み、機体の故障の原因になります。



ねじを締める

1 回転方向を正転(⤵)に合わせる

(P.13「正逆転切り替えについて」参照)

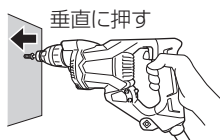
ねじをゆるめる

注 P.14「保護機能について」の"逆転連続防止"を参照してください。

1 回転方向を逆転(⤴)に合わせる

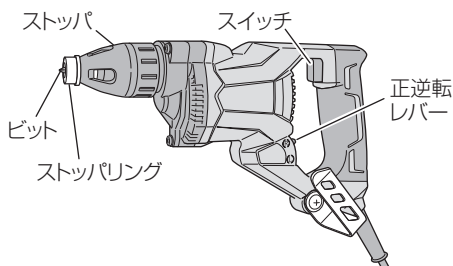
2 ねじを締める

- ねじの十字穴に正しくビットをはめ、取付面にねじの先端を当て、垂直に押し付けながらスイッチを引きます。または、スイッチを引きながら、垂直に押し付けます。
- 締め終わりましたら、押し付け力をゆるめるとビットの回転が止まります。
(P.13「正逆転切り替えについて」参照)



2 ねじをゆるめる

- ねじの十字穴に正しくビットをはめて、スイッチを引きます。
- ビットがねじの十字穴に入りにくいときはストッパをはずして、作業をしてください。



保守・点検

●ビットの点検

先端部が摩耗したり折損したビットを、そのまま使用すると、ねじ頭を傷めますので新品と交換してください。

●モーターの取扱いについて

モーター(内蔵)(P.7「各部の名称」参照)に油や水が浸入しないよう十分に注意してください。

●機体の点検

各部部品の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。異常がある場合は、お買い上げの販売店に相談してください。

●清掃する

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

●機体や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- お子様の手が届く場所、持ち出せる場所
- 軒先など雨が降りかかる場所、湿気がある場所
- 温度が急変する場所、直射日光が当たる場所
- 引火や爆発の恐れがある揮発性物質が置いてある場所

メ モ

メ モ